

市議会だより



市議会ホームページ

発行／喜多方市議会 編集／議会広報広聴委員会



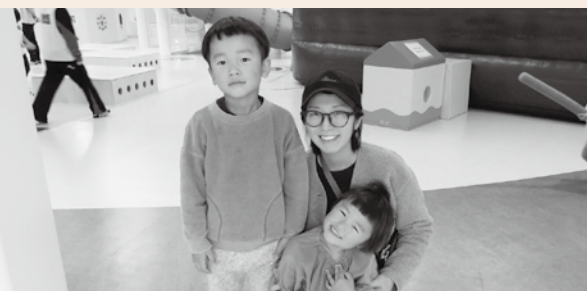
9月定例会
広域公共交通経費
など可決

特集 アイデミきたかた	2
9月定例会議案審議	5
一般質問に16名が登壇	8
請願・陳情の処理経過	17

特集

ひとつづくり・交流拠点複合施設

アイデミきたかた



岩田 朝美さん、
禄太郎くん、夏來ちゃん

最近は土日に利用しています。子供たちは、プレイリーダーさん達と遊ぶことで、より一層社会的になった感じがします。身体をつかって遊ぶことで心身ともにすっきり過ごせる日が増えました。あと、お昼ご飯やおやつの販売があればいいですし、ロビーのベンチが増えたらいいですね。

昨年4月に開館した「アイデミきたかた」の屋内子供遊び場「めぐらざ」が今年の9月末で12万8,860人の利用者を数えました。

今回はその利用状況について、利用者の声を聞いてみました。



北多山 修さん、亜美さん
結愛ちゃん

初めて利用しました。明るく広い遊び場で、大変満足でき、子供の喜ぶ顔が見れました。機会があれば何度でも訪れてみたいです。今回はインターネットで調べて来ました。身近にこのような施設があることが分かり、友達にも知らせたいです。



渡部 友里さん
心陽ちゃん、聡太くん

週2～3回利用しています。プレイリーダーの方が気軽に声を掛けてくれて、見守ってくれているので安全に楽しめます。

定員により入れないときは、子どもたちは残念な様子ですが、2階の木の遊具で遊べるし、雨降りの時でもものびのびと身体を動かせるのでありがたいです。



薄 陽太さん
陽慎くん、拓慎くん

昨年6月から月1～2回の頻度で利用しています。楽しみながらいろいろな体の動きが身につく点が良いです。子供たちも他の子と自然に会話ができ、かなり社会的になったと感じます。人数制限で人が多すぎないのも安全でよいと感じます。



三原 元樹さん、幸恵さん
咲希ちゃん、悠真くん
(祖母) 明美さん

妻の実家に帰省し、この施設を知りました。義母と家族で訪れてみましたが、地元にはこのような施設はなく、子育ての環境には大変良い施設と感じました。喜多方市の幸福度は高いものと感じました。また帰省した際には利用したいです。



村瀬 貴紀さん
詩ちゃん、央采くん

天候に左右されず利用できるので予定を立てやすく、プレイリーダーが居てサポートも手厚く子供が自立して遊べます。月1回は利用しており、初対面の子とも積極的に遊べるようになりました。施設のオープン時間がもう少し早いとさらに良いし、軽食を提供できる場があったらもっと良いと思います。



皆川 寛さん
護くん

初めてきましたが、気兼ねなく安全に遊ぶことができました。保育園で遊ぶ姿しかみていませんでしたが、こんなにも活発に体を動かす姿に驚いています。高学年の遊具をもう少し増やして欲しいと思います。

3年前、県立病院跡地に喜多方にとってふさわしいものは何かと、議会としても議論してきた経緯があります。結果として、複合施設として設置されました。

開設されてから1年半が経過し、令和9年度には図書館が併設されることから、大人から子供まで、楽しめる持続可能な施設の充実を目指して、議会としても取り組んでいきます。



高畑 里美さん
優晴くん

毎週2回程度は訪れています。スタッフの方が一緒に遊んでくれて大変助かります。子供は体を動かすことが大好きなので、楽しんでます。以前は雨の日は遊べませんでしたが、この施設を利用してからは親子で楽しんでます。

広域公共交通経費など可決

9月
定例会

9月
定
例
会

令和5年第7回9月定例会は9月7日から9月22日までの16日間の会期で開催されました。
市長提案により、報告4件、令和5年度予算案10件、条例案1件、その他10件と、請願5件、議
会から議会案2件が提出されました。

令和5年度 9月補正予算

会 計	補 正 額	総 額
一 般	7億6,645万7千円	282億6,575万7千円
特 別	4,104万0千円	117億8,906万9千円
下水道事業(収入)	一 千円	20億1,163万7千円
// (支出)	一 千円	23億1,308万0千円
水道事業(収入)	2万8千円	12億9,432万3千円
// (支出)	267万2千円	19億8,858万9千円

補正予算の主な事業

ふるさとづくり経費



【補正額2,261万円】
ふるさと納税事業

広域公共交通経費



【補正額2,336万円】
JR磐越西線災害復旧事業負担金

生涯学習施設管理経費



【補正額275万円】
塩川公民館避難器具設置業務委託

道路橋梁維持経費



【補正額1,501万円】
アスファルト舗装パッチング業務委託

議案審議・委員会の審査から

ふるさと納税事業について

市の令和4年度におけるふるさと納税額は、約7900万円、福島県内19位、全国1175位である。

一方、食事の美味しい街ランキングでは全国4位であり、市の潜在力が高いものがある。

全国には小さい町でも多額の寄附を得ている所もあり、本市としても財源として寄附を集めることができるよう、取組を改善する必要がある。

問 今回の補正予算で登録サイトを2つ増やすという事だが、同時に魅力のある返礼品の開発やさまざまなアイデアを出すためにも専門家などのスタッフが必要ではないか。

答 今回の補正予算で計5つのサイトでの発信が

可能になる。

返礼品は50%ルールが厳しくなり、ラーメン等は単価も低いので苦戦している。専門家の意見を伺うことも含め、新しい取組について研究していきたい。



JR磐越西線 災害復旧事業負担金について

令和4年8月の大雨で被災したJR磐越西線の復旧については、福島県が主体となり検討してきたところ、鉄道軌道整備法の助成制度の活用について調整が計られた。

県より関係自治体の負担見込み額が示されたので補正予算に計上した。

問 本市の負担割合を伺う。

答 復旧見込み額は12億8410万円である。
負担割合は国が25%、関係自治体が25%、鉄道事業者が50%に定められている。

従って関係自治体の負担額は3億2102万5千円となる。

これを只見線復旧時の負担割合の前列に従い、県が7割、会津17市町村が3割に分ける。

さらに本市は中心被災自

治体として2335万5千円の負担となった。

問 沿線自治体や会津17市町村が負担するのは理解するが、始発の郡山市が入っていないのはどうか。

答 県の意向としては、復旧の枠組みを只見線復旧の前列で行うことにより、早期の復旧及び再開通に繋がりたいということであった。

中通りの災害復旧では、県と自治体が5割ずつ負担した例があるが、今回の災害は会津地方で発生したものであり、県は只見線復旧時の負担割合である7割という高い負担をするため、郡山市を含めない会津地方内での対応としていただきたいとのことであったので内諾した。

公共機関の災害時避難経路確保・ 避難器具設置は早急に対応すべき

昨年1月26日の消防立入検査により指摘のあった塩川公民館3階の避難経路並びに避難器具についてこの度の補正予算にて計上された。

しかしながら、現在まで一年半以上経過しており、対応が遅すぎる点に疑問を隠せないことから公共機関の避難経路確保や器具設置は人命や救助に直結するため、早急に対応すべきと考え、今までの経緯や経過を質した。

問 現在まで関連機関及び受託事業所とどのようなやり取りをしてきたのか。

答 検査の指摘を受け、消防署・事業者・生涯学習課において一番安価で安全性の担保できる器具を検討していた。時間がかりすぎたことについては反省している。

問 避難経路の確保は人命に関わる重大なことである。

他市の総合体育館では長年に渡り消防法不適合のまま使用されてきた経緯があり、世論でも非難されている。

塩川公民館の件も指摘を受けた時点で1日でも早い改善が必要であったと思われる。法令の確認徹底や他の公共施設等のチェックを今一度しっかりと行っている。ただきたい。

答 今後、指摘を受けた時点で速やかに対応するとともに、公共施設及び関連する施設においても消防法に照らし合わせ、不備等がないか今一度確認している。

飯豊山寄覧所館屋根修繕工事



今回の補正で屋根修繕費用が計上された。

問 なぜこの時期に改修が必要になったのか、また今後の方向性については。

答 5月中旬頃に現地を確認したところ、軒先のたるきが破損しているのが見つかり、修繕の必要があるということで計上した。

また、今後の方向性については、現在、寄覧所館を含めて、市内には複数の郷

土民俗施設があるが、それらの整備について現在内部で検討を進めていて、その全体的な方針を今後まとめていく考えである。

現状としては、この寄覧所館は民俗資料の展示と併せて、夏の期間は飯豊山登山のアクセスバスの停留所として活用したいという状況である。



なぜ、今見つかったのか 高濃度のPCB

熱塩加納農村活性化施設
伝田館で、高濃度のPCB
が入っている蛍光灯の安定
器、3種類21台が確認され
た。処理施設のある北海道
へ運ぶことから、PCB廃
棄処分業務委託料等、38
万3千円を計上。

問 高濃度のPCBの処理
期限は今年の3月で終
わっていたのではないか。

答 処分期限は令和5年3
月31日だが、現在まだ
持ち込まれた物についての
処分を行っている状況で、
受け入れは可能ということ
を確認した。

問 以前に調べたはずだ
が、なぜ今になって見
つかったのか。

答 平成16年度に伝田館の
改修工事を県の代行工
事として行った。その時に、
蛍光灯の安定器にPCBが
含まれているということが
分かった。

その時は処理場がまだ出
来ておらず、隣の倉庫にケ
ースに入れて保管していた
が、保管されていることに、
誰も気づかなかった。

今年、イベントのために
倉庫から物を出し入れした
時に、そのケースを発見し、
PCBがあったことが判明
した。

問 倉庫に何が保管されて
いるか確認できる表示
はしてあるのか。

答 倉庫の中身の表示はし
ていない。

問 またこのようなことが
起きては困る。物品管
理の徹底をするべき。

答 物品の管理について
は、使用しているもの、
使用していないが一時的に
置いたものが分かるよう
に、記録をし、また引継ぎ
などもしっかりと行うよう
にする。

アスファルト舗装パッチング業務委託料、 補正予算計上時期が遅いのでは

行政区からアスファルト
舗装の補修要望が数多くあ
り、アスファルト舗装パッ
チング業務委託料の予算に
不足が見込まれることから、
補正予算が計上された。今
回の補正予算により、約3
400㎡のアスファルト舗
装パッチングを実施する。

問 何箇所のパッチング舗
装を予定しているの
か。

答 34力所の補修を予定し
ている。7月以降で、
道路パトロール、行政区長
からの連絡があった箇所で
ある。

問 今回9月の補正予算に
計上しているが、令和
4年度は、6月・9月補正
予算に計上されている。今
回の予算計上には問題な
かったのか。

答 当初予算で、パッチン
グ舗装について一定額
計上している。令和4年度

は、前年の降雪により補修
箇所が増えていたので、6
月、9月と補正予算を計上
した。今年度は修繕箇所が
少なかったため、6月まで
は予算が間に合っていた。

問 市民の生活道路維持に
必要な予算である。予
算が無く道路維持ができな
くなってからでは対応がま
すまず遅くなると考える。
早めの予算計上が必要と
考えるが。

答 対応を早くするため、
ある程度見込みを立て
ておき、必要なものについ
ては適正な時期に補正予算
の計上をさせて頂く。



喜多方市政のココが知りたい！

一 般 質 問

一般質問は、市政全般について市の方針を質すものです。

9月定例会の一般質問は9月7日から9月22日までの16日間行われ、16名の議員が登壇し、市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。

文面は各議員の自己編集とし、質問した項目の中から1項目程度を要約して掲載しております。(すべての質問項目は、オンデマンド配信でご覧いただけます。また、会期中はインターネットで中継を配信しています)



※各議員のQRコードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、オンデマンド配信でご覧いただけます。



高郷町の不審火対策強化と通学路等の早急な安全確保を！

市長 防犯カメラの増設と、道路の安全確保を強化する

問 高郷町では20年以
上に渡り度重なる

不審火による被害が相
次いでいる。今年に入
りすでに数件の空き家
等での不審火が発生し
ており、火災現場周辺
の農作物等の財産被害
が出ている。逃げ遅れ
等の人的被害も不安視
され、住民は日々戦々
恐々としている。また
消防に関わる方々の労
力は非常に大きい。今
まで様々な対策を講じ
てきたが検挙にはつな
がっておらず、今後も
発生する可能性が懸念
されることから防犯カ
メラの増設など早急に
効果的な対策が必要で
ある。

答 市防犯カメラを増
設し、今まで以上
に関係機関と対策を講

じていく。

問 塩川町では横断歩
道の白線が薄くほ

とんど見えない箇所が
ある。通学路になって
おり危険だという声を
多数聴いている。また
通学路の街灯が少な
く、暗所での転倒や犯
罪等を心配する声が聴
かれている。他地域で
も通学歩道の拡幅やグ
リーンベルトの設置、
ミラーや一時停止線等
の設置を求める声が多
い。市民、特に子ども
たちの安全確保のため
に早急に取り組んでい
ただきたい。

答 危険箇所の点検と
通学路を最優先改
善箇所として施行機関
へ要望する。

渡部 忠寛 議員



マイナ保険証との一体化への対応はどうか



齋藤 仁一 議員



市長 どのような立場であっても保険診療を受けられるようにする

問 マイナンバーカードの年代別取得数と割合はどうなっているのか。また、マイナ保険証との紐付けはどうか。

答 0歳～39歳までの人口1万4000

人に対し取得数9593人で68%である。

40歳～59歳までの人口1万526人に対し

取得数7722人で73%である。60歳以上の人口1万9927人に

対し取得数1万3215人で66%である。

また、国民健康保険0歳～74歳までの被保険者数9932人に対し

保険証利用登録者数は5140人で51%である。

後期高齢者医療制度75歳以上の被保険者数

9042人に対し保険証利用登録者数は3123人で34%となっている。

問 マイナンバーカードへの未申請者が約1万4000人である。また、マイナ保険証との紐付けも低い割合である。今後保険証との一体化への対応はどうするのか。

答 DXの推進は必要な時代であるが、

スケジュールの終期を示して進めることはい

かななものかと思う。

市民がどのような立場でも、保険診療を受けられるようにしてい

かなければならないと考えている。

また、今後市長会などを通して基礎自治体の課題解決を強く要望

していく。

「福、笑い」の生産方針の見直しを県に要請すべき

市長 県に対してあらゆる機会を捉えて強く要請していく



十二村 秀孝 議員



問 県産ブランド米「福、笑い」の生産方針を見直し、特別栽培レベルで生産振興を図るべきと考えるが、市の考えを伺う。

答 現在の「福、笑い」の生産・販売方針

は福島県オリジナル米生産販売推進本部が数量目標を定め、1生産

者当たり最大で50aを目安に配分を行っている状況にある。こうし

た状況を踏まえ、「福、笑い」が本県トップブ

ランドとしてのけん引役となるため、日本穀

物検定協会が行う食味ランキングの評価基準

となる生産面積1000ha以上の目標を掲

げ、認知度を高めていくことが必要であると

考える。

今後あらゆる機会を捉えて県に強く要請していく。

問 旧喜多方東高校の跡地利用のため、

県に対して会津大学に国際観光学部を新設

し、そのキャンパスとして活用するよう要望

すべきと考えるが、市の考えを伺う。

答 県では、空き校舎の利活用を所在市

町村のまちづくりに寄与するため、無償譲渡

を可能とする特別な支援パッケージを創設し

た。現在、跡地利用については、全庁的に検

討を行っているところであり、今後、議会へ

示したうえで、市民や各種団体の意見もいた

だきながら、利活用の方向性を検討してい

く。



▲稲刈り作業

可燃ごみ処理施設の老朽化の現状と今後の取り扱い方針は!



市長 検討委員会の方針を受けなるべく早い段階で示したい

山口 和男 議員



問 山都工場の老朽化と機能低下が進んでいるが建て替えの規模と設置箇所は、また本市は脱炭素社会の構築を目指し循環型社会の形成についてと温室効果ガスの排出量を46%削減の達成、さらにCO2排出量の72%が廃プラ類を占めているがこれを除外する取り組みを伺う。さらにこれらを実現するロードマップの作成を問う。

答 建て替え箇所は、今検討委員会で取りまとめているが、3方式の中で最も低廉である単純ストーカー方式によるごみ処理施設が望ましい。

ただし、地球温暖化対策面から廃プラ類の分別・収集・資源化の



▲現在の山都工場

取り組みを前提とした施設整備を考え市の総合ビジョンを今年度中に取りまとめるがその中にロードマップも含めなるべく早い段階に策定して示す。

鳥獣被害対策での今後の取り組みは!

市長 「獣マップ」の運用に向けて準備を進める



山口 文章 議員



問 鳥獣被害対策のICTを活用した取り組みは。

答 現在市では、鳥獣を箱わなで捕獲する際、箱わなの作動状況を携帯通信機器で確認できるシステムを使用し捕獲確認の際、見回りなどの負担軽減を図っている。

また、会津大学が行うAI学習カメラを用いた『くくりわな』の錯誤捕獲防止装置の実証実験に協力している。

今年度から、鳥獣の出没情報等をウェブサイトに掲載し、情報共有できる『獣マップ』の運用に向けて準備を進めている。

問 中学校における冬の期間の通学支援の進捗状況は。

答 これまで行政区ごとの生徒数・通学距離の把握などを整理し、対応策と課題の検討を行ってきた。

Aーデマンド交通『のるーと喜多方スクール』で検討進めているが、運行委託料の大幅な増加が見込まれるなど対応策が難しい状況である。他の手法による検討を行い、早急に実現できるよう進めていく。

問 自転車用ヘルメット着用促進のための購入費に対する市の助成制度は。

答 ヘルメット着用の周知・啓発を進め、助成制度は、他の自治体の取組状況を踏まえ、今後研究していく。

市民に寄り添う取り組みをどう進める!



佐原 正秀 議員

市長 可能性調査により、市民の要望に応える

問 街路樹の管理については、生活に根差した環境整備に努めているが、喜多方プラザ通り（市道押切東線）の路線は、街路樹の根によりブロックが持ち上がり、通行にも支障を来し、落葉期には近隣の住宅の屋根や庭先などにも被害をもたらしている。また、所によっては根本にキノコ菌が付着倒木するところも見られるため、市民から伐採し、別な街路樹を植えるよう強い要望があるがどう進める。



答 現在398本の街路樹が植えられており、管理業務を委託や直営による巡視、行政区からの情報提供により剪定や伐採などを行い、また根上がり対策として防根シートの敷設を行っている。な

お今後の対策を加速させ、再整備を進めるため、県補助金等の活用を計画中である。

問 森林を適正に管理していくには、ドローンやAIを活用して、より高度な森林の実態調査を行い、樹種や樹高、直径、立木密度、さらには材積量など、森林の現状の見え

る化・効率化を図ることが求められる。また、二酸化炭素排出量の市場取引が本格的に始動するが市民の要望に先駆け対策することが求められるがどうする。

答 森林の適切な管理を図るうえで、森林の実態を把握することとは不可欠であると捉えており、県が実施した航空レーザー計測を活用していく。また、二酸化炭素排出量の市場取引が開設される

が、情勢を見ながら適切な森林の活用を図って行く。

放課後児童クラブ待機への今後の対応は!!



市長 様々な方法を検討し、待機児童の解消を図る

問 本市での児童クラブ待機者数は、また、昨年と比較した待機者の推移は。

答 本年9月1日現在、市全体で40名であり、昨年同時期は2名だったので大幅に増えている。主に、「し

きみ児童クラブ」「喜多方児童クラブ」「塩川児童クラブ」であり、特に小学4年生から6年生に集中している

問 この状況をどう捉え、今後の対応策は。

答 今後、児童数の減少が見込まれるものの、共働き世帯の増加等による利用率の上昇が見込まれることから、当面は現在と同程度の利用ニーズがある

と考える。市として、

市有施設および民間の空き施設の活用や新たな施設整備など、様々な方法を検討し待機児童の解消を図る。

問 放課後児童クラブにおける、夏休み等期間中の食事の提供は。

答 本市では行っていないが、共働き世帯が利用しているため、食事の提供を望む保護者も一定程度いると考える。国が5月に実施した調査によると、長期休業中に食事を提供している児童クラブは全体の2割となっている。

今後、保護者へのアンケート等によりニーズを把握する。

遠藤 吉正 議員



高郷町への強力な不審火対策が必要である!



市長 新たな防犯カメラ増設に向け調査を行なっている

後藤 誠司 議員



問 高郷町においては長年にわたり不審火が続いている。

今年に入り山林や法面、空き家等6件の火災が頻発した。地域の住民の方々も不安で怯えた気持ちで過ごしている。

そこで、強力な不審火対策が必要と考える。

答 現在、警備会社に業務委託し、年間を通じて夜間に高郷町管内の巡回パトロールを行っている。

また、地元の喜多方市消防団第五支団による夜警を月12回行い、7月18日から7月末日までは、喜多方市消防団各支団が交代で毎日パトロールを行った。8月9日には「喜多

方市高郷町地域の安全安心を守る住民の会」を開催し、火災の状況と情報を共有し不審火対策の意見を集約した。

問 防犯カメラの増設が必要と考えるがいかがか。

答 市は平成29年8月に防犯カメラを設置した。他にも複数の行政区が設置したもの、喜多方警察署が設置したもの等がある。市は新たな防犯カメラの増設に向け、有効かつ効果的な設置場所について調査している。



▲設置された防犯カメラ

ふるさと振興株式会社と市の関係性は！？



市長 次期指定管理の見直しに向けて検討したい

問 喜多方市ふるさと振興株式会社の改革が急務であると考え。会社運営における課題は何か。

答 まずは慢性的な人手不足があり、特に季節的な業務や交代勤務のある施設では人材確保が極めて困難な状況にある。

また、燃料、資材、食材の高騰による経費の増大や管理受託施設の老朽化にともなう修繕・改修工事の発生、集客力の低下などが経営に影響を及ぼしているとの報告を受けている。

問 営業やマーケティングの専門家・事業者の方を役員に招く

など、役員体制の強化が必要ではないか。見解を求め。

答 現在は株主となっている企業や団体等から役員を選任しているところであり、一義的には取締役会等において検討されるべきものと考えている。

問 新たな会社のあり方と、市との関係性を整理する時期にあるのではないか。

答 市の指定管理者制度のあり方を含め、会社との協議を重ね課題を整理し、次期指定管理の見直しに向けて検討していきたい。

渡部 一樹 議員



▲喜多の郷の催し

本市の自主防災組織に対する考えは!



坂内 まゆみ 議員



市長 自主防災組織の更なる結成を図っていく

問 昨年の災害の際、自主避難を促した相川地区のケースに見られるよう、地域の中での自主防災が人的被害を防ぐ鍵となる。行政区や消防団、民生児童委員と連携した自主防災組織の結成を進めていく必要があると思われるが進捗状況は。

答 行政区長への文書配布や行政懇談会で結成の周知をしている。

結成されていない地区にも、更なる結成を働きかけていく。

問 自主防災組織が結成されている先進地区の事例発表などを通して、まだ組織されていない地区へ広げていくべきと考えるが、

市の見解は。

答 日頃から地域で協力し合う体制や活動は、防災をはじめとする地域の安全・安心な暮らしを守るための核となるもの、まだ結成されていない地区へ、結成されている地区の活動状況などを紹介し、結成に向けて取り組む。

問 自主防災組織の結成後の指導や助言、研修などはどのように行っているのか。

答 自主防災組織結成後の活動に対し補助制度を設けて支援、防災訓練などを実施している。



大雨災害対応検証課題の解決をどうするのか?



市長 検証報告にある今後の課題を確実に進めていく

問 昨年の大雨災害に対する検証報告書が提出された。そこにおいて示された幾つかの課題について伺う。

まず、会津の総排水路となっている阿賀川、日橋川の河道掘削の状況を伺う。

答 阿賀川については昭和58年から下流狭く部改修を実施している。現在は長井地区に着手して川幅を拡張し排水能力の向上を計っている。日橋川の予定はないので流域全体の治水対策を行っていく。

問 塩川町の内水氾濫避難発令基準をどうするのか。

答 日橋川南大橋の水位が3・5mに達した時、上流の水位の

急激な上昇など気象台の発する予測が基準に達する場合や、降り始めから200mm以上等の暫定的な条件を定め、関係者の意見を伺う。

問 防災行動計画（タイムライン）が付川など4河川分が示されているが、今回の状況に合わない部分がある。見直しはどうか。

答 現在既に、昨年の大雨を参考に見直しを進めている。

問 通行止めになっていく割田橋の改修はどうするのか。

答 地域住民が農作業等に利用する生活道路なので、本年実施設計を進め来年度工事着手して、早期完成を目指す。

小島 雄一 議員



鳥獣被害対策は実施隊、市、地区の連携強化を!



高畑 孝一 議員

市長 実施隊、市、関係地区との連携は万全を期し、今後に対応に努める



問 実施隊との連携は
いかがか伺う。

答 年度末に実施隊役員と市で情報・意見交換を実施し、講習会、研修会も行っている。今後も隊員の技術向上のため、講習会の場を設ける。

問 令和4年度から実施隊の報酬が改訂されたが、隊員の受け止めは。

答 活動参加の差や免許種類の差を勘案して改訂。概ね理解を得ている。

問 西会津町では免許取得の際、講習射撃受講料、交通費の半額支援がある。

答 実施隊を維持して行く事は大切な事なので、他市の事も調査していく。

問 実施隊と市と関係
行政区との連携は
極めて大切だが、その
現状はいかがか伺う。

答 人的被害が想定される有害鳥獣の出没があった時は、近隣行政区長、警察、小中学校、福祉施設などへ直ちに連絡し、必要に応じて「FMきたかた」による緊急放送、各種メール等で配信を実施している。

問 実施隊が活動中とわかるステッカーを車両に貼ってはどうか。

答 実施隊の活動が一目でわかるので、今後導入していく。

問 電気柵の団体補助の添付は工事实施後に
されたい。

答 申請者の負担軽減を図る立場から検討をしていく。

児童虐待防止対策は必須である。さらなる取組を



市長 オレンジリボン運動の一層の普及啓発に努める

問 過去3年間の児童
虐待相談対応件数
は。

答 令和3年度が57件、令和4年度が65件、令和5年度が8月末現在で45件である。

問 オレンジリボン運動の取組みは。

答 11月の「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」に合わせ、国が作成するポスターやリーフレットを全庁舎、各教育機関、各保育施設、各公民館等へ掲示・設置するとともに、広報きたかた11月号への記事掲載を予定している。

本市の新たな取組としては、キャンペーン

菊地 とも子 議員



期間中のメイン事業として、アイデミきたかたを会場とし、11月に「親子の絆講演会」の開催を予定している。

また、市内保育施設の園児による塗り絵作品の展示を企画しており、オレンジリボン運動の一層の普及啓発に努めていく。

問 レジリエンス教育の効果は。

答 多くの評価項目において良好な結果を確認したほか、学校現場からは、児童の登校状況改善の報告があった。



災害復旧、未受注の工事は！

市長 速やかに工事の発注準備を進める



齋藤 勘一郎 議員



問 農地、農業用施設の未受注工事10件、16力所とは。

答 工事が災害査定時と比べ大幅に増加し変更審査が必要な所と、実際に復旧工事を発注するために詳細な設計が必要な箇所である。

問 発注はいつか。

答 全ての工事の詳細設計は既に発注し、速やかに工事の発注ができるよう準備を進める。

問 昨年被災された農業者の収入減少を補うため収入補填支援金を交付するが、そばに転換した場合の営農計画書との整合性について伺う。

いて伺う。

答 激甚災害により仮畦畔の設置、土砂堆積等で作付不能地や転作した農地へ交付する。営農計画書を参考とし現地確認を行う。確認後は速やかに対象者に申請書を郵送し支援金を交付する。

問 慶徳峠、小舟寺工区の改良工事の見通しは。

答 喜多方建設事務所に確認したところ、今後地域の皆様に事業説明会を開催し、用地の御協力を得ながら工事の早期着工、完成を図ることである。



▲山都町の災害現場

国保税の子ども均等割への市独自の減免措置を

市長 市としてどのような負担軽減を講ずることができるか検討していく



田中 修身 議員



問 命にかかわる健康保険証の廃止を止め継続することが、市民の不安に対する一番の解決策と考えるが、市長の考えを伺う。

答 マイナンバーカードと健康保険証の一体化は、様々なメリットを国民に享受してもらったため、また、今後の医療DXの基盤となる仕組みであるため、国が国策として推進している。

市としては、市民が混乱しないよう、マイナ保険証を保有しない人には資格確認書を交付することについて周知を図りながら、国の動向を注視し、適切に対応していく。

問 高過ぎる国保税の負担軽減は、市民の命と健康を守るために必要である。子ども

が多いほど負担が重くなる子ども均等割を廃止し、市民を応援すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

答 国民健康保険税の課税方式は、地方税法に規定されており、均等割額は地方税法上課税する必要があるので、子どもの均等割を廃止することはできない。

なお、子どもに係る国民健康保険税の負担軽減については、県における国民健康保険料率の統一に向けた検討と併せ、市としてどのような負担軽減を講ずることができるか検討していく。

問 子どもの均等割について、「廃止」ではなく「自治体による独自の減免措置」という考え方はどうか、伺う。

答 「減免」することは「廃止」ではないので可能と考える。検討していきたい。

昨年8月3日大雨災害対応検証結果について

市長 検証結果を「報告書」にまとめた。今後の対策強化に活かしていく



矢吹 哲哉 議員



問 自主避難所を開設した山都町藤沢集落の時系列の対応は。

答 3日午後11時頃、五枚沢川、一の戸川の水位が上昇し、越水のおそれがあったため、地元消防団が避難を呼びかけ、集会所に自主避難した。

4日午前2時頃河川水位が下がったため、消防車両に誘導され、自主避難所に食糧、毛布を届けた。

問 今後の災害対策に活かすことは。

答 ただちに取り組みの対策は、塩川地区の内水面氾濫低減のための排水機能向上対策など、ソフト対策としては、「水位計の増設」、「職員の気象知識向上、状況判断の体制強化」、「孤立が予想される集

落の対策強化」、「高齢者等要配慮者の避難方法検討」などである。

中長期的に取り組む対策は、「河川や水路の改修」、「排水ポンプ車導入検討」などである。

問 災害対策本部を立ち上げた4日前0時前に、市内各地で被害が発生している。避難指示のタイミングの課題はなにか。

答 避難指示のタイミングと住民が避難完了する時間について、遅くならないよう市の「防災行動計画（タイムライン）」の見直し、避難ルート、避難指示発令の検討が必要。

問 一の戸川流域については、「洪水ハザードマップ、防災行動計画」を策定していない。

早急に策定することを要望する。

9月定例会審議結果

意見が分かれたもの等

採決で賛否が分かれたものについては下記のとおりです。これ以外の案件などは、全会一致で可決されました。全ての議案名と結果は喜多方市議会ホームページをご覧ください。



議員名 議案等名		議決結果 (議決年月日等)	賛成・反対	1 渡部 忠寛	2 田中 修身	3 坂内まゆみ	4 高畑 孝一	5 山口 文章	6 十二村 秀孝	7 遠藤 吉正	8 菊地とも子	9 小島 雄一	10 矢吹 哲哉	11 上野利一郎	12 渡部 一樹	13 後藤 誠司	14 五十嵐 吉也	15 齋藤勲一郎	16 佐藤 忠孝	17 伊藤 弘明	18 渡部 勇一	19 佐原 正秀	20 齋藤 仁一	21 山口 和男	反対討論	賛成討論	
請願 第5	熱塩加納地区小学校の早期 の統合実施に関する請願	採択 (令和5年9月22日)	18:3	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	矢吹哲哉	高畑孝一
請願 第6	健康保険証廃止の中止を求 めマイナンバーカード取得 の強制に反対する意見書提 出の請願	採択 (令和5年9月22日)	16:5	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	伊藤弘明	矢吹哲哉 高畑孝一 齋藤仁一
請願 第9	福祉灯油に関する請願	採択 (令和5年9月22日)	16:5	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	遠藤吉正	田中修身
議会案 第7号	健康保険証廃止の中止・撤 回とマイナンバーカードの 取得強制に反対する意見書	原案可決 (令和5年9月22日)	17:4	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○		

○は賛成、●は反対、一は欠席、議長（小林時夫）は採決に加わらない。

請願・陳情

次のとおり審査されました。

本会議で採択された請願や陳情は、市議会の意向意見書等にまとめ、市当局や関係機関へ、その実現を要望します。（各意見書はホームページでご覧いただけます）



請 願 名 提出者（敬称略）	趣 旨	委員会 （採択結果）	本会議 （賛成：反対）
請願第5 熱塩加納地区小学校の早期の統合実施に関する請願 熱塩加納地区PTA連絡協議会 会長 猪俣定利	令和6年度から熱塩小学校と加納小学校の統合を実施すること。	文教厚生 常任委員会	採択 (18：3)
		採択	
請願第6 健康保険証廃止の中止を求めマイナンバーカード取得の強制に反対する意見書提出の請願 全日本年金者組合耶麻支部 支部長 治田孝三	1 健康保険証廃止を中止すること。 2 マイナンバーカードを強制するあらゆる取組を行わないこと。	文教厚生 常任委員会	採択 (16：5)
		採択	
請願第7 健康保険証廃止の撤回とマイナ保険証の制度改正を求める意見書提出の請願 耶麻喜多方地区高齢・退職者連合会 会長 芥川 久	1 健康保険証廃止を撤回すること。 2 マイナ保険証は希望者のみとすること。	文教厚生 常任委員会	みなし採択
		みなし採択	
請願第8 地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願 日本労働組合総連合会福島県連合会 耶麻喜多方地区連合会 議長 齋藤賢司	1 社会保障の維持・確保、人への投資も含めた地域活性化、デジタル化、脱炭素化、防災・減災、物価高騰対策、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費も含めて、十分な地方一般財源総額の確保を図ること。 2 子育て対策、地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、急増する社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫することから、地方単独事業分も含め、十分な社会保障経費の拡充を図ること。特に、これらの分野を支える人材確保に向けた自治体の取組を十分に支える財政措置を講じること。 3 地方交付税の法定率を引き上げるなどし、臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。 4 引き続きの新型コロナウイルス感染症対策として、5類移行後におけるワクチン接種体制や保健所も含めた医療提供体制について、自治体での混乱が生じることのないよう、十分な財政措置やより速やかな情報提供などを行うこと。 5 「まち・ひと・しごと創生事業費」の1兆円については、新たに「地方創生推進費」として2023年度も確保されているが、持続可能な地域社会の維持・発展に向けて、より恒久的な財源とすること。 6 会計年度任用職員制度の運用については、2024年度から可能となる勤勉手当の支給も含め、今後も当該職員の処遇改善や雇用確保が求められることから、引き続き所要額の調査を行うなどし、その財政需要を十分に満たすこと。 7 特別交付税の配分に当たり、諸手当等の支給水準が国の基準を超えている自治体に対して、その取扱いを理由とした特別交付税の減額措置を行わないこと。 8 デジタル化における自治体業務システムの標準化については、引き続き「地域デジタル社会推進費」に相当する財源を確保するなど、十分な財源を保障すること。 9 森林環境譲与税については、より林業需要を見込める自治体への譲与額を増大させるよう、人口による配分を3割とする現行の譲与基準を見直すこと。 10 人口減少に直面する小規模自治体を支援するため、段階補正を拡充するなど、地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化を図ること。	総 務 常任委員会	採択 (21：0)
		採択	
請願第9 福祉灯油に関する請願 喜多方生活と健康を守る会 会長 酒井宏和	福祉灯油の支給を実施すること。なお、生活の最も苦しい生活保護受給者も含めること。	文教厚生 常任委員会	採択 (16：5)
		採択	

討論

討論とは、議題となっている案件について、表決の前に、賛成・反対の意見を表明することを行います。

請願第5 熱塩加納地区小学校の早期の 統合実施に関する請願

反対討論

6月に第1次実施計画（案）が提案され、8月には地域説明会を開催、現在は適正規模適正配置審議会で答申に向けた検討の段階である。

今後は、教育委員会で審議会での答申を受け最終決定をしていくことになる。それには、保護者や地域住民との合意形成が必要としている。

したがって、今必要なことは、こうした話し合いを保護者や地域で行い、合意形成を行っていくことであると考える。

請願については、重く受けとめるが、現時点で議会として賛成・反対を判断する時期ではないと考え、請願には反対。

賛成討論

今回の計画（案）を受けて実施されたPTAのアンケートでは、小学校の統合に賛成との意見が圧倒的に多い。

市の資料によれば、熱塩小、加納小とも複式学級があり、今後も継続されるとの分析が示されている。

今回の請願はそうした問題の解決・是正のため、早期の統合が必要との考えから提出されたものと受け止め、請願に賛成。

請願第6 健康保険証廃止の中止を求め マイナンバーカード取得の強制に 反対する意見書提出の請願

反対討論

マイナンバーカードに関する問題として、データの重複や流出等事務的なミスが数多く発生した。これらについては速やかに問題を修復することが求められる。

マイナンバーカードは国民の情報を一元化し、行政サービスについて迅速かつ正確に実施していくことに目的がある。

現在の行政業務については各

省庁・都道府県、基礎的自治体である市区町村において、同じ様なデータを持ち、同じ様な仕事を行っている。

これらを一元化し、瞬時に行政サービスに反映できたら、大きな行政改革として全国的な経費の削減に繋がっていく。

それにはデータの管理がきっちりとなされ、誰にも悪用できないことが求められる。

それらを前提に、マイナンバーカードの取り組みに大いに賛成で、請願には反対。

賛成討論

マイナンバーカードの取得はあくまでも任意だが、健康保険への加入は、国民皆保険制度により強制となっている。

マイナンバーカードと保険証を一体化していくということでは、マイナンバーカードの取得の強制になる。

重度の障がい者等がマイナンバーカードを取得できないなど、この一体化と保険証の廃止を危惧する声が高まっている。命と健康にかかわる問題である。

保険証廃止後は、資格確認書を発行するとしているが、保険

証を発行しておけば今までどおりで何も問題はない。

情報を一括管理して便利になるというが、それこそ危険が増して個人情報管理そのものが大変なことになる。

保険証は廃止しないことを強く求めるものである。よって請願には賛成。

請願第9 福祉灯油に関する請願

反対討論

コロナ禍で景気の低迷が続く中、県の最低賃金が900円になり、米価は会津産コシヒカリで前年より1500円高くなるなど、景気を上向きにとの動きがあるが、物価高騰が更にそれを上回り、市民の生活は一層苦しい状況に置かれている。

請願の中で国保税、市民税の滞納が増えているとのことであるが、確認したところ、国保税、市民税の滞納額は増えているのではなく、減少している。

今回の請願では灯油限定であると共に、高齢者、低所得者、生活保護者世帯となっており、現在の原油価格、物価高騰では

その他にも農業、商工業等に従事している方々、特に中間層を含む多くの方々が影響を受けている。

また、現在、環境問題から灯油から電気へ生活スタイルを変えている多くの市民もいる。このことから私は福祉灯油ではなく、もっと大局的な視点から対策を講ずるべきことであり、請願には反対。

賛成討論

コロナ禍の下で景気低迷が続く、労働者の実質賃金の低下や年金の切り下げが行われ、生活保護費も減額。電気代が大幅に値上げされ、物価の上昇が追い打ちをかけている。灯油代も高騰、需要期になれば更なる値上がりが見込まれる。

市民生活は一層深刻になっていて、「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」の支給だけでは間に合わない。生活困窮世帯では、ストーブの設定温度を低くし、家の中でも厚着をして凌いでいる。生活困窮者の窮状を直視し、福祉灯油の実施を強く求めるものである。よって請願には賛成。

決算特別委員会を開催しました

9月議会定例会において、令和4年度決算認定審査のため決算特別委員会が設置され、10月4日から16日までの13日間の日程で決算特別委員会が開催されました。

特別委員会では、令和4年度喜多方市歳入歳出決算の認定、令和4年度喜多方市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定、令和4年度喜多方市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定の3決算が審査されました。

次号で審査内容をお知らせいたします。

人事

全会一致で任命することに同意しました。

人権擁護委員

神田 優子【再任】(喜多方／南桜ガ丘)

筒井 弘【再任】(塩川／3区)

小島 早苗【新任】(塩川／沖)

齋藤 茂幸【新任】(高郷／西羽賀)

所管事務調査



産業建設常任委員会では 令和5年度末に暫定供用になる豊川・慶徳線工事の進捗状況など視察を実施した。

関柴町西勝地内から豊川町米室地内の区間約1.3kmの工事箇所について担当者から説明など現場の視察調査を行った。

臨時議会が開催されました

令和5年第6回臨時会(8月2日)が開催され、令和5年度喜多方市一般会計予算などが提案され、物価高騰対応生活困窮世帯緊急支援に係る経費3,014万円等を全会一致で可決した。

12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28	29	30 本会議 (開会、会期決定、 提案理由説明等)	12/1 休会 (議案調査)	2
3	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7 本会議 (一般質問)	8 本会議 (議案審議)	9
10	11 委員会 (各常任委員会 付託案件の審査)	12 休会 (事務整理)	13 休会 (事務整理)	14 本会議 (委員長報告、 各案件決定、閉会)	15	16
17	18	19	20	21	22	23

定例会に行う請願・陳情について

【提出期限】各定例会開会日（招集日）の9日前まで

【提出先】喜多方市議会事務局（市役所4階）

※期限を過ぎて提出されたものは、次回定例会での審査になりますのでご注意ください。

【請願提出に関する必要事項】

請願には必ず1人以上の市議会議員の紹介が必要になりますので、市議会議員にご相談ください。
陳情の場合は紹介の必要はありません。

詳しくは、議会事務局 Tel 0241-24-5253まで



FM きたかた 議会中継 78.2MHz

定例会の様子を録音放送しています。
開会日の翌週、平日の午後2時～午後5時は、ラジオ放送をぜひお聞きください。



議会 インターネット中継

開会中はライブ（生配信）を視聴できます。
過去の配信映像も視聴できます。



喜多方市議会公式facebookページを開設しています。
<https://www.facebook.com/kitakatashigikai/>



背景の絵柄は「喜多方の染型（県有形民俗文化財指定）」「格子と菊と亀甲」です。

編集後記

めぐらざに入って、すぐ目に飛び込んだのは子供たちが元気に楽しそうに遊ぶ姿でした。あいにくの雨模様でしたが室内で元気に駆け回る子供たちの熱気は、どんよりした天気も吹き飛ばしました。

私たちはこの子供たちの将来のため何ができるのか、何を残せるのか真剣に考えていかなければならないと思いました。

取材を通していただいた貴重なご意見は議会としてもしっかりと受け止め、より良い喜多方にしていきたいよう頑張つてまいりたいと思います。

議会広報広聴委員会

十二村 秀孝



委員長 佐原 正秀
副委員長 十二村 秀孝
委員 渡部 忠寛
田中 修身
高畑 孝一

山口 文章
山口 渡部 小島 雄一
山口 和男